

令和4年度 事務事業評価（議会）  
（令和3年度決算）

分科会評価結果

分科会名	建設分科会					整理番号	建設-3			
事務事業名	住宅等ストック対策推進事業									
評価区分 （事務事業の方向性）	1	拡充	2	継続	③	改善の上 で継続	4	終期設定 し終了	5	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、老朽化により周辺の住環境を悪化させている危険な空き家を除却し、市民の安全・安心の確保と住環境の改善及び良好な景観の維持を図ること、長期末利用の空き家等を改修し、住み替え情報バンクに登録することで市場への流通を図り、空き家の利活用を促進するほか、福祉や文化・芸術等の用途へ転用を促し、地域の活性化を図ること、また、子育て世帯を対象に中古住宅の利活用を促進し、子育て世帯が安心して子どもを産み育てることのできる環境を整備することを目的としている。

令和2年度の大分市空き家等実態調査結果では、周囲に悪影響を及ぼす可能性がある判断された空き家が620件、軽度な不良状態の空き家が全体の約6割となっていることから、本事業の必要性は高いと認められる。

今後は、家屋除却後の土地等に課税される固定資産税の在り方について、国へ要望することを求めるとともに、広報の工夫により市民への周知を効果的に行うこと、また、中古住宅で始める子育て新生活応援事業については、市民にとって親しみやすく、利用しやすい名称を検討することを求め、改善の上で継続とした。